2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月４日

上場会社名　　東洋水産株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　2875　　ＵＲＬ　https://www.maruchan.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）住本　憲隆
問合せ先責任者　（役職名）経理部長　　（氏名）早川　崇　　ＴＥＬ　03-3458-5246
半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　2026年12月７日
決算補足説明資料作成の有無：　有
決算説明会開催の有無　　：　有　　（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	274,064	7.0	45,825	15.2	50,305	14.9	37,151	11.5
2026年３月期中間期	256,074	1.1	39,772	△0.1	43,784	△1.0	33,325	△0.6

（注）包括利益　　2027年３月期中間期　　35,617百万円　（2.1%）　　2026年３月期中間期　　34,892百万円　（39.7%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	385.99	―
2026年３月期中間期	335.40	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	636,960	538,330	82.4
2026年３月期	642,877	543,927	82.6

（参考）自己資本　　2027年３月期中間期　　525,072百万円　　2026年３月期　　530,903百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	80.00	―	140.00	220.00
2027年３月期	―	80.00			
2027年３月期（予想）			―	140.00	220.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	560,000	4.4	82,000	△4.4	88,500	△5.9	65,600	△6.5	681.56

（注１）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

（注２）当社は、2026年５月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行っております。連結業績予想の「１株当たり当期純利益」については、自己株式の取得の影響を考慮しております。

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：　無

新規　－社　（社名）－、　　除外　－社　（社名）－

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	110,881,044株	2026年３月期	110,881,044株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	16,157,922株	2026年３月期	13,538,678株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	96,249,399株	2026年３月期中間期	99,360,790株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「１．当中間決算に関する定性的情報　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（セグメント情報等の注記） …… 10

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、緩やかに回復する状況にありました。先行きにつきましては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されますが、中東情勢やアメリカの政策動向及び金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All.すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高は274,064百万円（前年同期比7.0％増）、営業利益は45,825百万円（前年同期比15.2％増）、経常利益は50,305百万円（前年同期比14.9％増）、親会社株主に帰属する中間純利益は37,151百万円（前年同期比11.5％増）となりました。

なお、当中間連結会計期間の為替換算レート（期中平均レート）は、159.38円/米ドル（前中間連結会計期間は、146.04円/米ドル）であります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

水産食品事業は、仕入価格の高騰に対して適正価格での販売を進めましたが、コンビニエンスストア向け商品や前年好調であった外食向け商品の反動等により販売数量が減少し、売上高は15,341百万円（前年同期比2.8％減）、セグメント利益は、売上高の減少はあったものの、高付加価値商品の販売や採算性を重視した販売を強化したことにより945百万円（前年同期比5.2％増）となりました。

海外即席麺事業は、米国では25年７月に実施した価格改定以降、新商品の発売やマーケティング活動等の積極的な販売施策を展開し、需要喚起に努めました。改定影響が一巡した26年７月以降は、主力のカップ麺、袋麺ともに前年を上回る販売で推移したことで、上期全体では前年を上回りました。一方、メキシコでは26年４月に実施した価格改定後もカップ麺、袋麺ともに堅調に推移いたしました。これらに加え、円安の影響もあり、売上高は132,912百万円（前年同期比14.7％増）、セグメント利益は、メキシコにおける包材の紙カップ化や輸入原材料の高騰による原材料費等の増加を価格改定等でカバーし、35,711百万円（前年同期比23.5％増）となりました。

国内即席麺事業は、26年７月にカップ麺の一部商品の価格改定を実施いたしました。カップ麺では、主力商品の「赤いきつねうどん」「緑のたぬき天そば」において、各種キャンペーン施策の効果も加わり、堅調に推移いたしました。また、「麺之助」シリーズ、「ホットヌードルNEO」シリーズ等のオープンプライス商品も好調に推移し、増収となりました。袋麺では、発売15周年を迎える「マルちゃん正麺」シリーズの販売施策により、袋麺全体が好調に推移し、増収となりました。その結果、売上高は47,928百万円（前年同期比3.4％増）、セグメント利益は、原材料費の高騰や運賃保管料の増加等がありましたが、販売数量の増加及び価格改定効果による増収により3,831百万円（前年同期比4.5％増）となりました。

低温食品事業は、生麺では「マルちゃん焼そば３人前」シリーズの期間限定品の発売、全温度帯連動のキャンペーン、「マルちゃんの冷し生ラーメン３人前」シリーズのキャンペーン等を実施し拡売に努めましたが、前年好調だった涼味品が天候要因等により前年を下回ったこと等により、減収となりました。冷凍食品では市販用の「ライスバーガー」シリーズが伸長いたしましたが、冷凍麺は25年６月に実施した価格改定の影響等により、減収となりました。その結果、売上高は32,222百万円（前年同期比0.8％減）、セグメント利益は、原材料費、人件費及び減価償却費等の増加により3,153百万円（前年同期比33.7％減）となりました。

加工食品事業は、フリーズドライ商品は、主力の「素材のチカラ」シリーズの５食パックを中心に、取扱店舗の拡大や家庭内での喫食回数の増加等により、増収となりました。米飯商品においては、原料米価格の上昇に対し複数回の価格改定を実施いたしましたが、足元では生米価格が下落傾向にある中、レトルト製法商品の販促企画等の積極的な販売施策に取り組んだものの、販売数量の回復が遅れ、減収となりました。その結果、売上高は10,613百万円（前年同期比2.0％減）、セグメント損失は、米飯商品における価格改定効果等により前年同期と比べ改善し、45百万円（前年同期はセグメント損失562百万円）となりました。

冷蔵事業は、天候要因によるアイスクリームの保管量の減少等の影響はあったものの、配送サービスの取扱拡大及び価格改定により、売上高は14,085百万円（前年同期比4.2％増）、セグメント利益は、運送量の増加に伴う人件費、運送料等の増加がありましたが、外部委託費用の減少及び価格改定による増収効果により1,894百万円（前年同期比22.1％増）となりました。

その他は、主に弁当・惣菜事業であります。売上高は20,960百万円（前年同期比1.5％減）、セグメント利益は834百万円（前年同期比6.8％減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比べ総資産は5,917百万円減少し、636,960百万円、純資産は5,597百万円減少し、538,330百万円となりました。この主な変動要因は、以下のとおりであります。

資産は、主に商品及び製品、原材料及び貯蔵品が増加しましたが、現金及び預金が減少しました。負債は、主に繰延税金負債が増加しましたが、未払費用、未払法人税等、流動負債のその他が減少しました。純資産は、主に利益剰余金が増加しましたが、自己株式の取得に伴う自己株式の増加により減少しました。

この結果、自己資本比率は82.4％となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2,341百万円（6.6％）減少し、33,345百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動の結果得られた資金は、前年同期に比べ9,804百万円（29.7％）増加し、42,814百万円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益、仕入債務の増減額により増加したことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ10,613百万円（前年同期は6,527百万円の収入）増加し、4,086百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が減少、定期預金の払戻による収入が増加しましたが、定期預金の預入による支出が増加したことによるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ19,891百万円（92.4％）増加し、41,425百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による支出が増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関する事項につきましては、当中間連結会計期間の業績が想定していた範囲内で推移しているため、2026年５月15日に発表しました見通しを変更しておりません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	261,783	250,634
受取手形、売掛金及び契約資産	63,336	63,122
商品及び製品	19,845	22,585
仕掛品	488	527
原材料及び貯蔵品	24,733	27,524
その他	8,095	7,348
貸倒引当金	△641	△644
流動資産合計	377,642	371,099
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	80,950	78,757
機械装置及び運搬具（純額）	51,419	49,599
土地	35,971	35,900
リース資産（純額）	1,105	1,068
建設仮勘定	40,107	42,561
その他（純額）	1,545	1,522
有形固定資産合計	211,099	209,409
無形固定資産		
のれん	598	561
ソフトウエア	2,210	1,885
ソフトウエア仮勘定	5,254	6,225
その他	267	265
無形固定資産合計	8,330	8,937
投資その他の資産		
投資有価証券	42,429	44,499
繰延税金資産	764	751
退職給付に係る資産	82	82
その他	2,529	2,181
投資その他の資産合計	45,805	47,514
固定資産合計	265,235	265,861
資産合計	642,877	636,960

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,234	33,466
短期借入金	481	437
リース債務	309	322
未払費用	27,900	25,801
未払法人税等	6,278	4,412
役員賞与引当金	175	57
資産除去債務	2	3
その他	4,927	3,334
流動負債合計	72,310	67,836
固定負債		
リース債務	2,488	2,383
繰延税金負債	10,012	14,613
役員退職慰労引当金	319	317
退職給付に係る負債	9,910	9,773
資産除去債務	200	203
その他	3,708	3,502
固定負債合計	26,639	30,793
負債合計	98,950	98,629
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,969	18,969
資本剰余金	22,942	22,942
利益剰余金	461,757	485,280
自己株式	△55,684	△83,187
株主資本合計	447,984	444,005
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,883	19,317
繰延ヘッジ損益	31	△10
為替換算調整勘定	59,781	56,773
退職給付に係る調整累計額	5,222	4,987
その他の包括利益累計額合計	82,918	81,067
非支配株主持分	13,024	13,258
純資産合計	543,927	538,330
負債純資産合計	642,877	636,960

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	256,074	274,064
売上原価	178,803	188,389
売上総利益	77,270	85,675
販売費及び一般管理費	37,497	39,850
営業利益	39,772	45,825
営業外収益		
受取利息	3,233	3,570
受取配当金	489	481
持分法による投資利益	78	109
雑収入	516	552
営業外収益合計	4,317	4,714
営業外費用		
支払利息	98	91
為替差損	58	56
雑損失	149	86
営業外費用合計	306	234
経常利益	43,784	50,305
特別利益		
固定資産売却益	255	114
投資有価証券売却益	471	66
補助金収入	18	－
特別利益合計	745	181
特別損失		
固定資産除売却損	135	170
減損損失	15	0
関係会社株式売却損	－	72
その他	3	3
特別損失合計	154	247
税金等調整前中間純利益	44,374	50,239
法人税、住民税及び事業税	8,984	8,978
法人税等調整額	1,792	4,034
法人税等合計	10,777	13,012
中間純利益	33,596	37,226
非支配株主に帰属する中間純利益	271	75
親会社株主に帰属する中間純利益	33,325	37,151

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	33,596	37,226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,543	1,721
繰延ヘッジ損益	27	△42
為替換算調整勘定	△1,467	△3,008
退職給付に係る調整額	102	△242
持分法適用会社に対する持分相当額	89	△37
その他の包括利益合計	1,295	△1,608
中間包括利益	34,892	35,617
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	34,440	35,299
非支配株主に係る中間包括利益	452	318

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	44,374	50,239
減価償却費	8,523	9,574
減損損失	15	0
関係会社株式売却損益（△は益）	－	72
のれん償却額	36	36
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△10	△2
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△185	△118
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△6	2
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	133	△491
受取利息及び受取配当金	△3,722	△4,051
支払利息	98	91
持分法による投資損益（△は益）	△78	△109
有形固定資産除売却損益（△は益）	△119	55
売上債権の増減額（△は増加）	1,225	71
棚卸資産の増減額（△は増加）	△6,782	△5,830
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,184	1,365
未払費用の増減額（△は減少）	△2,011	△2,016
その他	△1,629	2,322
小計	37,676	51,212
利息及び配当金の受取額	4,235	4,278
利息の支払額	△98	△91
法人税等の支払額	△8,804	△12,585
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,009	42,814
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△126,445	△154,210
定期預金の払戻による収入	154,334	161,163
有形固定資産の取得による支出	△20,782	△10,220
有形固定資産の売却による収入	372	133
無形固定資産の取得による支出	△1,721	△1,341
投資有価証券の取得による支出	△14	△13
投資有価証券の売却による収入	783	76
関係会社株式の売却による収入	－	414
貸付けによる支出	△857	△1,105
貸付金の回収による収入	850	1,043
その他	8	△27
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,527	△4,086

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	809	1,568
短期借入金の返済による支出	△825	△1,612
配当金の支払額	△11,947	△13,627
非支配株主への配当金の支払額	△77	△89
自己株式の取得による支出	△9,354	△27,502
その他	△138	△161
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,533	△41,425
現金及び現金同等物に係る換算差額	△597	356
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	17,404	△2,341
現金及び現金同等物の期首残高	39,381	35,687
現金及び現金同等物の中間期末残高	56,786	33,345

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年５月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,618,900株の取得を行いました。この結果、当中間連結会計期間において自己株式が27,502百万円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が83,187百万円となっております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結財務諸表計上額（注）３
	水産食品事業	海外即席麺事業	国内即席麺事業	低温食品事業	加工食品事業	冷蔵事業	計				
売上高											
日本	15,613	－	46,342	32,482	10,830	13,513	118,782	21,190	139,972	－	139,972
米州	－	115,839	－	－	－	－	115,839	－	115,839	－	115,839
その他	171	－	－	－	－	－	171	89	261	－	261
売上高（注）４	15,785	115,839	46,342	32,482	10,830	13,513	234,794	21,279	256,074	－	256,074
外部顧客への売上高	15,785	115,839	46,342	32,482	10,830	13,513	234,794	21,279	256,074	－	256,074
セグメント間の内部売上高又は振替高	633	－	64	8	0	576	1,283	33	1,317	△1,317	－
計	16,418	115,839	46,407	32,491	10,831	14,089	236,077	21,313	257,391	△1,317	256,074
セグメント利益又は損失（△）	898	28,905	3,665	4,754	△562	1,552	39,213	896	40,109	△336	39,772

（注）１　その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

２　セグメント利益又は損失の調整額△336百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△472百万円、棚卸資産の調整額68百万円及びその他の調整額68百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に営業外取引との相殺消去額であります。

３　セグメント利益又は損失は、中間連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

４　売上高は主に顧客との契約から認識された収益であり、その他の源泉から認識された収益の額に重要性はありません。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額的重要性が乏しいため記載を省略しております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結財務諸表計上額（注）３
	水産食品事業	海外即席麺事業	国内即席麺事業	低温食品事業	加工食品事業	冷蔵事業	計				
売上高											
日本	15,133	－	47,928	32,128	10,613	14,085	119,889	20,859	140,749	－	140,749
米州	－	132,912	－	－	－	－	132,912	－	132,912	－	132,912
その他	208	－	－	94	－	－	302	100	402	－	402
売上高（注）４	15,341	132,912	47,928	32,222	10,613	14,085	253,104	20,960	274,064	－	274,064
外部顧客への売上高	15,341	132,912	47,928	32,222	10,613	14,085	253,104	20,960	274,064	－	274,064
セグメント間の内部売上高又は振替高	613	－	45	1	0	585	1,247	25	1,272	△1,272	－
計	15,955	132,912	47,974	32,224	10,614	14,671	254,351	20,985	275,337	△1,272	274,064
セグメント利益又は損失（△）	945	35,711	3,831	3,153	△45	1,894	45,491	834	46,326	△500	45,825

（注）１　その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

２　セグメント利益又は損失の調整額△500百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△493百万円、棚卸資産の調整額△74百万円及びその他の調整額67百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に海外子会社との取引より生じる為替の相殺消去額であります。

３　セグメント利益又は損失は、中間連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

４　売上高は主に顧客との契約から認識された収益であり、その他の源泉から認識された収益の額に重要性はありません。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額的重要性が乏しいため記載を省略しております。